

ふくやま未来づくりビジョン 2017

～未来づくりの5つの挑戦～

Challenge To
The Future

福山市

はじめに

昨年、本市は市制施行100周年という大きな節目を迎え、これまでの100年の歩みを振り返る中で、先人たちのたゆまぬ努力への感謝と積み重ねてきた歴史・文化を次世代に誇りをもって引き継いでいく思いを市民の皆様と共有いたしました。

そして、今、私たちは先人たちが築かれた歴史の上に、次なる100年という新たなステージへと歩み出すスタートラインに立っております。

こうした中、2017年度（平成29年度）予算は、新たなまちづくりのスタートにふさわしく、ふるさと福山が100年先にも輝きを放ち続けるまちであることを目指し、**「未来への挑戦予算」**として編成いたしました。私の掲げる5つの挑戦を盛り込んだ予算であり、新年度は、各施策を着実に実行に移します。これまでとは違う切り口からまちづくりを進め、具体的な成果が見え始めることで、**市民の皆様がまちづくりに“変化を感じる年”**としたいと考えております。

そのため予算編成では、

- 福山の未来を切り拓き、更なる成長へとつながる効果的な投資
- 未来への希望となる子どもたちの幸せと若者・女性の活躍促進
- 市民の誇りを高める福山文化の継承と発展

の3点に特に意を用いたところであります。

これまで経験したことがない人口減少の時代に、私は、市民の皆様とともに、夢のある“未来”を描けるまちづくりを進めていきたい、まちづくりに新しい風を吹き込んでいきたいと思っております。この未来づくりビジョンは、その新たな風となる新年度の重点プロジェクトをお示したものです。備後の中核都市として、本市の更なる飛躍・成長に向け、「スピード感・情報発信・連携」を基本に力強く推進して参ります。

ふくやま未来づくりビジョンの概要

- 未来づくりを推進する14施策の当初予算額 **約73億円** (再掲分を除く事業費)
【一般会計 政策経費の**約23%**】

- 国の補正予算に伴う前倒しを実施 (2016年度 (平成28年度) 3月補正予算対応予定)
事業費 約19億円 (小・中学校施設の耐震化)  前倒し分を含めた実質的な事業費 **約92億円**

挑戦1：中心市街地の活性化と都市の魅力向上

予算額 166,323千円

○ 中心市街地の活性化 【29,466千円】 P1

福山城を始めとした文化ゾーンと一体的に“都市の顔”として、福山駅前地区を「住む、観る、憩う、学ぶ、働く、集う、そして発信する」など様々な機能の集積により、人や企業を惹きつける拠点に再生することで、中心市街地のにぎわいを創造します。

○ 都市の魅力向上と発信 【120,402千円】 P2

「情報発信戦略会議」などで専門家の知見を取り入れながら、情報発信戦略を策定し、地域資源等を磨き上げて創り出す都市の魅力や行政情報を戦略的に発信することで、国内外から多くの人を呼び込むことができるまちをめざします。

○ 戦略的な観光振興 【16,455千円】 P3

全国に数ある観光地の中から本市が選ばれるため、本市の観光イメージをリードする「鞆の浦」「福山城」「ばら」などの観光資源の魅力を引き上げ、ターゲットを絞った戦略的なプロモーションを展開します。その効果を市内各所の観光資源に波及させ、市外からの観光客等の増加につなげます。

挑戦2：希望の子育て、安心の医療・福祉とまちの活力の創出

予算額 575,833千円

○ 子育てしやすいまちNo.1への挑戦 【417,859千円】 P4

妊娠、出産、子育てに関し、切れ目のない支援を行うために、医療・保健・福祉・就職等の相談体制を再構築し、「福山版ネウボラ」を創設します。それにより、子育てに関する不安や負担を軽減し、より一層、安心して子育てができる環境づくりを進めます。また、子どもの生活実態を調査し、施策の推進を図ります。

○ 「健康長寿社会 福山」の実現 【80,703千円】 P5

「だれもが健やかでいきいきと暮らせるまち」の実現に向けて、「食育の推進」「健康増進」「介護予防・認知症施策等の推進」の視点から、生活習慣の改善や地域で取り組む健康づくりの推進、認知症施策の推進等に取り組み、健康寿命の延伸をめざします。

○ 若者や女性の活躍推進 【77,271千円】 P6

若者や女性が輝くまちの実現に向け、就労支援やワーク・ライフ・バランス、グローバル人材の育成などを推進し、若者の地元就職や女性が活躍できる環境づくりに取り組みます。

挑戦3：まちの成長をけん引する産業づくり・防災

予算額 1,755,613千円

○地域経済の活性化 【 782,679千円】 P7

企業訪問(ものづくり福の耳プロジェクト)等で得た中小企業のニーズを踏まえ、技術者等の養成・確保や、福山ビジネスサポートセンター(Fuku-Biz)における経営相談などを通して、イノベーションが生まれやすい環境づくりに取り組みます。また、企業誘致に向けた取組や産業インフラを整備し、新たな活力を創造するとともに、行政情報を公開し、創業や新たなビジネスにつなげます。

○農林水産業の活性化 【 80,849千円】 P8

備後圏域の多様な地域資源を活用した6次産業化の推進や水産物のブランド化などにより農林水産業の活性化を図ります。

○防災対策の推進 【 892,085千円】 P9 (国の補正予算に伴う前倒し分 1,870百万円程度)

安心・安全に暮らせるまちの実現に向けて、市民一人ひとりが自発的に行う自助・共助による地域での防災活動を推進するとともに、大規模災害の教訓を踏まえて、国・県等の関係機関との連携強化を図る中で、河川大規模氾濫時等の減災対策や学校施設の耐震化など、災害に強いまちづくりを進めます。

挑戦4：夢・希望あふれる未来を創る人財の育成

予算額 1,102,341千円

○未来を創造する教育 【 1,082,691千円】 P10

「自ら考え学ぶ授業づくり」を中心とした全教育活動を通して、21世紀型“スキル&倫理観”を育成することで、変化の激しい現代社会の様々な問題(環境・貧困・人権・平和等)を自らの課題として捉え、解決のために様々な人と協働して、持続可能な社会を創造し、行動化できるたくましい子どもを育てます。

○夢・希望の実現 【 19,650千円】 P11

子どもたちが夢にチャレンジ・提案できる機会を設け、子どもたちの夢・希望の実現に向けた支援を行います。また、個人のスキルを社会貢献に生かす仕組みをつくるほか、あらゆる市民が未来づくりに向けて自由闊達な議論や活躍のできる場として「(仮称)ふくやま未来づくり100人委員会」を創設します。それらにより、「ふるさと福山」への誇りと愛着を醸成し、夢と希望あふれる福山の実現をめざします。

挑戦5：文化・スポーツの振興

予算額 3,704,924千円
(再掲分除く)

○歴史・文化の継承 【 242,347千円】 P12

福山開府400年・福山城築城400年に向けて、各年度テーマ性を持ったイベントなどを実施することで、市民の機運を醸成し、本市の魅力为全国に向けて発信します。あわせて、本市の豊かな歴史・文化資源の発信も強化します。

○鞆のまちづくり 【 217,174千円】 (うち再掲分 214,674千円) P13

地域との協働により、鞆地区の総合的なまちづくりを推進するため、まちづくりワークショップなどを通じて、地域社会と歴史や文化が調和する、新たなまちづくりの将来像を描きます。そして、地域と行政が協力しあって鞆地区の再生・活性化に取り組むことにより、安全で快適な生活環境と魅力ある鞆地区の実現をめざします。

○スポーツの振興 【 3,460,077千円】 P14

「スポーツで活気あふれるまち 福山」をめざして、生涯にわたってスポーツができ、スポーツの活用により地域が活性化するまちを実現していく環境を整え、関係団体等と連携しながら、スポーツの活性化を図ります。

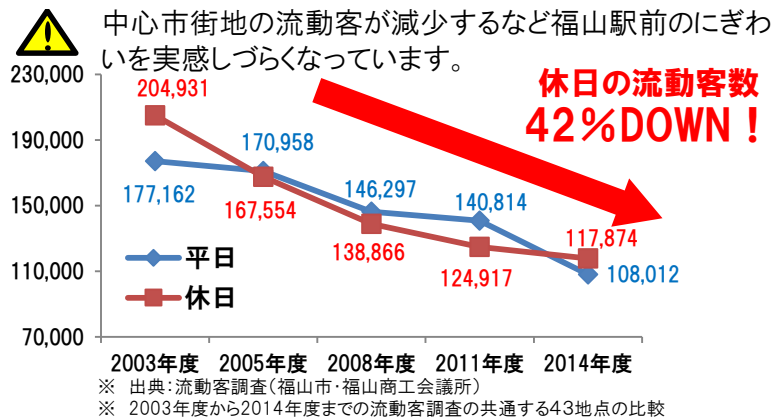
【挑戦1】中心市街地の活性化と都市の魅力向上

中心市街地の活性化(予算額:29,466千円)

担当課：建設局福山駅前再生推進部福山駅前再生推進室

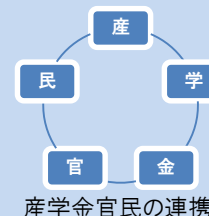
福山城を始めとした文化ゾーンと一体的に“都市の顔”として、福山駅前地区を「住む、観る、憩う、学ぶ、働く、集う、そして発信する」など様々な機能の集積により、人や企業を惹きつける拠点に再生することで、中心市街地のにぎわいを創造します。

現状



解決に向けた取組

- ・将来を見据え、備後圏域の玄関口としてふさわしい、福山駅周辺の再生の方向性を示します。
- ・様々な人が駅前の将来像を共有することで、産学金官民連携によるまちづくりを進めます。



ロードマップ

2016

- ・事業を推進する組織として「福山駅前再生推進室」の立ち上げ
- ・(仮称)福山駅前再生ビジョンの策定に着手

2017

- (仮称)福山駅前再生ビジョンの策定
産学金官民で構成する協議会を開催し、専門的な知見を取り入れながら、駅前に必要な機能などについて議論します。

2018

- 策定したビジョンに基づき、伏見町地区と三之丸町地区を中心に、駅前周辺の魅力とにぎわいの創出に向けた取組を着実に進めます。

めざす姿

「住む、観る、憩う、学ぶ、働く、集う、そして発信する」など様々な機能が集積し市民が誇りを持てる福山駅前の再生



【挑戦1】中心市街地の活性化と都市の魅力向上

都市の魅力向上と発信(予算額:120,402千円)

担当課：市長公室情報発信課
 企画財政局企画政策部企画政策課
 市民局まちづくり推進部協働のまちづくり課 ほか

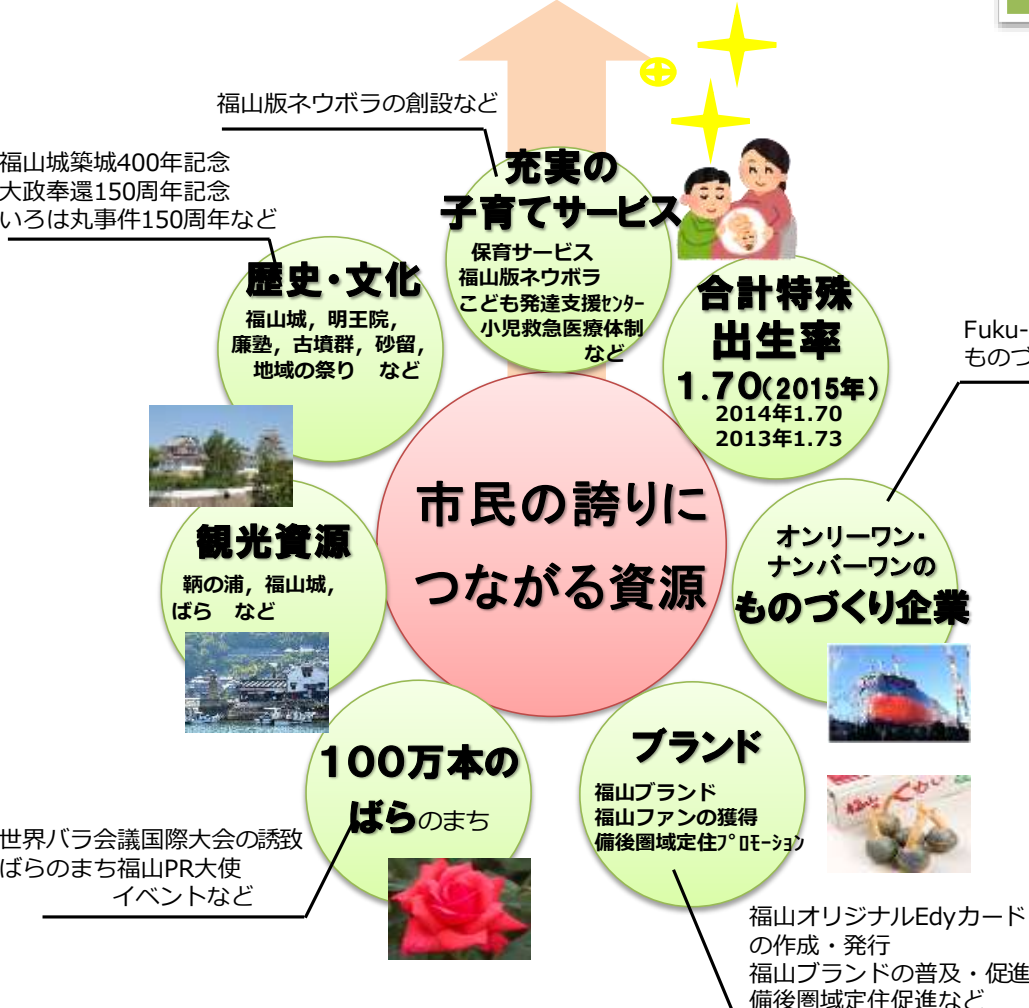
「情報発信戦略会議」などで専門家の知見を取り入れながら、情報発信戦略を策定し、地域資源等を磨き上げて創り出す都市の魅力や行政情報を戦略的に発信することで、国内外から多くの人を呼び込むことができるまちをめざします。

都市の魅力として「発掘」+「磨き上げ」



戦略的な情報発信

- 魅力あるコンテンツを「全国・世界へ発信」
- 行政情報を分かりやすく「地域に発信」



● 情報発信戦略会議の設置

外部の有識者や専門家を交えて戦略的な情報発信の在り方を検討

● 「情報発信戦略」の策定・推進

- ・ 市政情報や魅力を市内外に効果的に発信していく「情報発信戦略」を策定します。
- ・ 情報を一元化し、情報の魅せ方や最適な媒体の選択など戦略的広報を推進する体制を整備します。
- ・ 施策の構想段階からターゲットや目的に応じた広報戦略を構築します。
- ・ 効果を検証し、広報手法の最適化やデザイン性の向上など、質の向上を図るP D C Aサイクルを確立します。

【挑戦1】中心市街地の活性化と都市の魅力向上

戦略的な観光振興(予算額:16,455千円)

担当課：経済環境局文化観光振興部観光課

全国に数ある観光地の中から本市が選ばれるため、本市の観光イメージをリードする「鞆の浦」「福山城」「ばら」などの観光資源の魅力を引き上げ、ターゲットを絞った戦略的なプロモーションを展開します。その効果を市内各所の観光資源に波及させ、市外からの観光客等の増加につなげます。

観光推進体制, 受入環境の充実

- ・福寿会館を活用した外国人観光客の誘致
- ・無料公衆無線LAN環境の整備
- ・観光情報案内看板の整備



戦略的な観光資源の磨き上げ

- ・築城400年を迎える福山城や明王院、廉塾などの文化財のほか、古墳群、砂留、祭りなど地域で受け継がれてきた文化・歴史の磨き上げ
- ・新たな観光資源の開発として、海上など新たな視点による動画作成



戦略的なプロモーション

- ・いろは丸事件、大政奉還150周年をテーマとした、ストーリーのある観光情報の発信
- ・観光アプリやSNSなどを活用した多言語による観光情報発信



広域観光の推進

- ・備後圏域のテーマに基づく、観光周遊ルートの設定と発信【連携中枢】
- ・(一社)せとうち観光推進機構と連携した広域的なプロモーションの展開



【挑戦2】希望の子育て、安心の医療・福祉とまちの活力の創出

子育てしやすいまちNo. 1への挑戦(予算額:417, 859千円)

担当課：保健福祉局児童部ネウボラ推進課
保育課 保健部健康推進課 ほか

妊娠、出産、子育てに関し、切れ目のない支援を行うために、医療・保健・福祉・就職等の相談体制を再構築し、「福山版ネウボラ」を創設します。それにより、子育てに関する不安や負担を軽減し、より一層、安心して子育てができる環境づくりを進めます。また、子どもの生活実態を調査し、施策の推進を図ります。

『福山版ネウボラ』は挑戦します！

★全国初の「ネウボラ相談員養成プログラム」の構築・「きめ細かな訪問支援」の実施

独自のカリキュラムに加え、ステップアップを目指す養成プログラムを構築し、全国ナンバーワンのネウボラ相談員を養成します。また、家庭の課題に対応した支援プランを作成し、きめ細かな訪問支援を実施します。

★全国に誇れる「豊富な子育て資源によるサポート体制」の構築

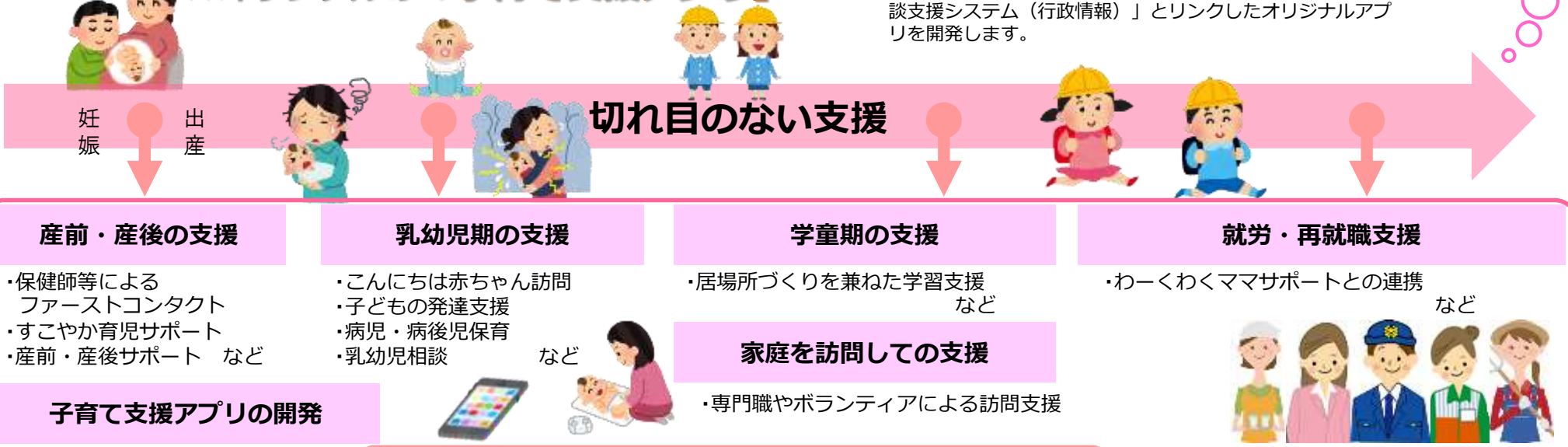
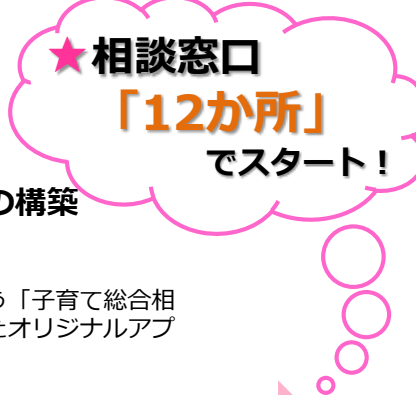
充実した保育サービスや質の高い発達支援体制など、全国に誇れる豊富な子育て資源を生かしたサポート体制を構築します。

★全国初の「就労・再就職までのサポート体制」(就労支援一体型ネウボラ)の構築

全国初の就労・再就職までを支援する体制を整えたネウボラを設置します。

★オリジナルの「子育て支援アプリ」の開発

「今必要な情報」がリアルタイムで届くよう「子育て総合相談支援システム(行政情報)」とリンクしたオリジナルアプリを開発します。



専門性を持ったネウボラ相談員による総合相談

※「ネウボラ」…フィンランド語で「助言の場」を意味する総合的な支援制度

【挑戦2】希望の子育て、安心の医療・福祉とまちの活力の創出 「健康長寿社会 福山」の実現(予算額:80,703千円)

担当課：保健福祉局保健部健康推進課
総務課 成人健診課
長寿社会応援部高齢者支援課

「だれもが健やかでいきいきと暮らせるまち」の実現に向けて、「食育の推進」「健康増進」「介護予防・認知症施策等の推進」の視点から、生活習慣の改善や地域で取り組む健康づくりの推進、認知症施策の推進等に取り組み、健康寿命の延伸をめざします。

第2次健康増進計画・食育推進計画

食育(食生活) 運動 休養 こころ 喫煙 飲酒 歯・口腔

生活習慣の改善(未病対策)

健康の見える化の推進

- 健康への関心を高める仕掛けづくり
(健康手帳の活用, 健康チェックの機会の提供など)

ヘルスケアポイント制度の活用

- 特定健康診査・がん検診の受診, 健康イベントの参加者にポイントの付与, 特典と交換



生活習慣病の予防と重症化予防

- 特定健康診査・がん検診の受診勧奨
- 生活習慣病(慢性腎臓病)の予防・重症化予防
- 生活習慣病(糖尿病性腎症)の重症化予防



地域で取り組む健康づくりの推進

- 健康づくりボランティアの活動推進
食生活改善推進員・運動普及推進員の育成・活動支援
- ボランティアの広域的な活動の推進【連携中枢】



健康寿命の延伸



生涯にわたり健やかに暮らせる社会の実現

認知症施策の推進

医療機関・介護事業者・地域住民の連携による支援
(地域包括ケアシステム)

- 認知症初期集中支援チームによる支援
- 認知症地域支援推進員への相談
- 認知症カフェの開催
- 認知症サポーターの養成 など

連携



ふくやま健康・食育市民会議(フクイク21)参加団体等の民間機関や県との連携
(医師会・歯科医師会・薬剤師会・保育所・幼稚園・小学校・大学・職域・検診所・地区組織・ボランティアなど)

【挑戦2】希望の子育て、安心の医療・福祉とまちの活力の創出 若者や女性の活躍推進(予算額:77,271千円)

担当課：経済環境局経済部産業振興課
市民局まちづくり推進部男女共同参画センター ほか

若者や女性が輝くまちの実現に向け、就労支援やワーク・ライフ・バランス、グローバル人材の育成などを推進し、若者の地元就職や女性が活躍できる環境づくりに取り組みます。

女性の活躍推進

女性が活躍できる就労環境の整備

- 働く女性応援ポータルサイトの公開【連携中核】
様々な分野・職種で活躍している女性や積極的に女性を採用している企業を紹介するポータルサイトを開設します。
- (仮称)駅前女子カフェの運営【連携中核】
若年女性層をターゲットに、地元企業の魅力等を発信する拠点をアイネスフクヤマ1階に設置します。
- Web系在宅ワークの推進
働く時間等に制約があっても柔軟に就業できるように、在宅ワークのスキル向上研修等を実施します。
- 看護職員再就職支援セミナーの開催【連携中核】
結婚、出産等で離職した「潜在看護職員」の再就職促進に向けたセミナーを開催します。
- ふくやま女性テラスの開催
企業や大学等の女性が集い、意見交換する「ふくやま女性テラス」を開催します。



(仮称)駅前女子カフェ(イメージ)



若者や女性が輝くまち



ワーク・ライフ・バランスの推進

- ふくやまワーク・ライフ・バランス認定・表彰制度の推進
先駆的な取組を行っている事業者の表彰や優れた取組内容の周知などにより、事業者等の「ワーク・ライフ・バランス」の取組を促進します。
- 放課後児童クラブの拡充
「福山市放課後児童クラブ整備方針」に基づき、2019年度(平成31年度)までに全学区で小学校6年生まで拡大します。
- 男性の子育て参加促進
男性の育児参画を促すための講座やセミナーを開催します。



若者の就労支援

学生の地元定着

- 若手社員と学生の交流会の開催【連携中核】
学生に地元企業の魅力を伝えるため、若手社員と学生が意見交換を行う交流会を開催します。
- 市立大学での講座開講【連携中核】
地元企業を題材に企業分析力の向上をめざします。
- 看護職員確保に向けた取組
看護学生向け市内就職セミナーを開催します。また、高校生などに対して、看護職をめざすきっかけづくりに取り組みます。



グローバル人材の育成

- 地域課題解決プロジェクト
高校生が企業訪問や取材学習を通して、地元企業が地域で果たしている役割を発見し、企業が抱える課題を理解・探究します。
- グローバル課題解決プロジェクト
高校生が海外語学研修や姉妹校等との交流を行うことで、グローバルな視点やコミュニケーション能力を身につけます。



グローバル人材の育成

- 講義(全15回)・海外研修の実施【連携中核】
連携大学の教員などが講師となり、国際経営理論などを学びます。備後圏内企業の海外事務所等を訪問し、真に国際ビジネスで活躍できる人材を育成します。



【挑戦3】まちの成長をけん引する産業づくり・防災 地域経済の活性化(予算額:782,679千円)

担当課：経済環境局経済部産業振興課
企業誘致推進課
建設局土木部幹線道路課 ほか

企業訪問(ものづくり福の耳プロジェクト)等で得た中小企業のニーズを踏まえ、技術者等の養成・確保や、福山ビジネスサポートセンター(Fuku-Biz)における経営相談などを通して、イノベーションが生まれやすい環境づくりに取り組みます。また、企業誘致に向けた取組や産業インフラを整備し、新たな活力を創造するとともに、行政情報を公開し、創業や新たなビジネスにつなげます。

中小企業イノベーションの創出

技術者の養成・確保

- ものづくり大学等の充実【連携中枢】
ものづくり技術の継承・高度化に向けた支援やものづくり啓発を行います。

中小企業の提案力強化

- 福山ビジネスサポートセンターの運営【連携中枢】
中小企業等や起業家を対象に、売上向上や創業支援に重点を置いた伴走型の経営相談により、「稼ぐ力」を高めます。

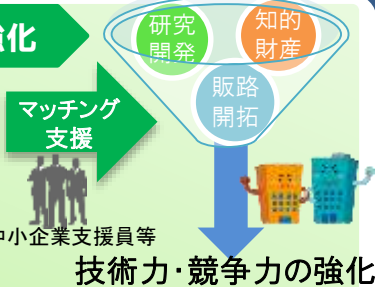


相談



異分野・異業種交流、企業間連携の強化

- 新事業創出等の支援
新商品・技術等の企画・開発を支援します。
- 行政情報の公開(オープンガバメント)による創業等の促進
- 企業間マッチングの支援
オンリーワン技術等を生かし、企業間のマッチングを支援します。
- デニムプロジェクトの推進【連携中枢】
国内屈指のデニム産地として、国内・海外へ広くPRします。



技術力・競争力の強化

企業誘致の促進

企業立地促進条例の改正

- ICT企業・本社・ファブレス企業の誘致
成長産業を誘致し、新たな雇用を創出します。
- 設備投資に対する積極支援
設備導入・更新を支援し、市内企業の持続的発展を図ります。



産業インフラの整備(渋滞対策)

スマートICの整備

- スマートIC[※]とアクセス道路の整備
 - ・交通分散により福山東IC周辺における交通渋滞の緩和につなげます。
 - ・中心市街地や主要観光施設などへのアクセス性を高めます。



スマートIC完成予想図(下り線)
※「スマートIC」…ETCを搭載した車両専用のインターチェンジ

幹線道路網の整備

- 福山道路等の整備
 - ・交通分散により交通渋滞を緩和し、社会経済活動を支えます。
 - ・安心、安全な道路交通環境を実現します。



幹線道路網

新たな活力の創造

備後圏域の多様な地域資源を活用した6次産業化の推進や水産物のブランド化などにより農林水産業の活性化を図ります。

6次産業化の推進



農林水産物に新たな付加価値を創出するため、6次産業化や農商工連携を推進します。

●首都圏におけるびんご産品販路開拓事業【連携中枢】

農林水産物等の消費者へのPRと事業者へのマッチングを実施します。

●びんご6次産業化アドバイザー派遣事業【連携中枢】

6次産業化に関して専門的な知識及び経験を有するアドバイザーを派遣します。

●6次産業化推進・設備整備等事業補助【連携中枢】

意欲ある農林漁業者等が取り組む新商品開発や加工施設等の整備に必要な経費の一部を補助します。



水産物ブランド化の推進

備後圏域で水揚げされた水産物を備後フィッシュとしてブランド化を推進します。

●水産物ブランド化推進事業【連携中枢】

備後フィッシュの消費拡大・流通促進に向け、PR活動を強化します。



備後の漁師
1000人が選ぶ
魚たち。

担い手の育成・確保

持続可能な農林水産業を実現するため、次世代を担う多様な農林漁業者の育成・確保を行います。

●担い手発掘事業【連携中枢】

各地域の農業の魅力や就農支援情報を発信し、就農希望者の発掘を行います。



所得向上・経営安定

農林水産業の活性化

【挑戦3】まちの成長をけん引する産業づくり・防災

防災対策の推進(予算額:892,085千円)

(国の補正予算に伴う前倒し分 1,870百万円程度)

担当課：総務局総務部危機管理防災課

教育委員会管理部施設課

上下水道局工務部下水道施設課 ほか

安心・安全に暮らせるまちの実現に向けて、市民一人ひとりが自発的に行う自助・共助による地域での防災活動を推進するとともに、大規模災害の教訓を踏まえて、国・県等の関係機関との連携強化を図る中で、河川大規模氾濫時等の減災対策や学校施設の耐震化など、災害に強いまちづくりを進めます。



安心・安全に暮らせるまちの実現

自助

地域防災力の強化

災害に強いまちづくり

・河川大規模氾濫時等の減災対策
・学校施設の耐震化 など

公助

共助

●瀬戸川流域などの浸水対策の推進

道路冠水や住宅地の浸水被害を軽減するため、河川・水路の改修・整備や雨水排水施設の整備に取り組みます。



●河川大規模氾濫時の減災対策の推進

「芦田川水系大規模氾濫時の減災対策協議会」や「広島県管理河川大規模氾濫時の減災対策協議会」に参画し、国・県等と連携・協力して河川大規模氾濫時の減災対策を推進します。

●学校施設の耐震化

2020年度(平成32年度)の耐震補強工事の完了に向けて、着実に実施します。
耐震改修 樹徳小, 伊勢丘小
改築 城北中
(国の補正予算に伴う前倒し分 小学校14棟, 中学校7棟)



●市民への啓発

災害に対する備えや災害時の適切な行動など、各種防災情報を掲載した「防災ガイドブック」を全戸に配布します。

●人材育成・活用の促進【連携中枢】

- ・福山防災大学で地域防災をけん引するリーダーを育成します。
- ・福山防災リーダー連絡協議会を設立し、防災リーダーの活動促進に取り組みます。

●自主防災組織の活性化

- ・学区・地区防災(避難)計画の作成支援に取り組みます。
- ・避難行動要支援者への取組を進めます。
- ・継続的・計画的に防災訓練を実施します。

【挑戦4】夢・希望あふれる未来を創る人財の育成 未来を創造する教育(予算額:1,082,691千円)

担当課：教育委員会学校教育部指導課 学校保健課
管理部学校再編推進室 ほか

「自ら考え学ぶ授業づくり」を中心にした全教育活動を通して、21世紀型“スキル&倫理観”を育成することで、変化の激しい現代社会の様々な問題(環境・貧困・人権・平和等)を自らの課題として捉え、解決のために様々な人と協働して、持続可能な社会を創造し、行動化できるたくましい子どもを育てます。



中学校給食実施の加速化

中学校給食の「全体計画」を策定し、完全実施に向けて、取組を加速します。
実施校(6校)
東中、鷹取中、大成館中、松永中、精華中、一ツ橋中

学校施設の耐震化

2020年度(平成32年度)の耐震補強工事の完了に向けて、着実に実施します。
耐震改修 樹徳小、伊勢丘小
改築 城北中
(国の補正予算に伴う前倒し小学校14棟、中学校7棟)



【行動化できる学び】 21世紀型“スキル&倫理観”の育成

自ら考え学ぶ授業づくり

- 小学校「学びづくりフロンティア校」事業
学びのスタートとなる低学年の国語・算数で、児童のつまずきの要因と改善の手立て、発達段階に応じた指導の在り方を明らかにします。
- 中学校「教科の専門性パワーアップ」事業
教員の教科の専門性を高め、授業力の向上を図り、「自ら考え学ぶ授業づくり」を進めます。
- 高等学校「グローバル人材育成」事業
地元企業を素材にした学習や海外提携校等との交流を通じて、地元に対する愛着と誇りや、グローバルな視点を身に付けた人材を育てます。

【学校教育環境】 切磋琢磨でき、安心して快適に過ごせる環境の整備

学校規模・学校配置の適正化

- 学校再編対象校事前交流の実施
新しい学校生活を円滑に迎えられるよう事前の交流事業を行います。
- 小学校校舎の整備
再編後の新たな学校の整備・充実を図ります。
- 義務教育学校の整備
(仮称)軀小中一貫校の開校に向け、教育課程の編成や施設整備等を行います。



【挑戦4】夢・希望あふれる未来を創る人財の育成

夢・希望の実現(予算額:19,650千円)

担当課：市民局まちづくり推進部まちづくり総務課
青少年課 協働のまちづくり課 ほか

子どもたちが夢にチャレンジ・提案できる機会を設け、子どもたちの夢・希望の実現に向けた支援を行います。また、個人のスキルを社会貢献に生かす仕組みをつくるほか、あらゆる市民が未来づくりに向けて自由闊達な議論や活躍のできる場として「(仮称)ふくやま未来づくり100人委員会」を創設します。それらにより、「ふるさと福山」への誇りと愛着を醸成し、夢と希望あふれる福山の実現をめざします。


子どものチャレンジの応援

未来づくりに向けた協働

子ども議会・高校生議会

市政に関心のある小学生から高校生が市政の現状や課題を調べ、地域や社会に関心を深め、それぞれの視点でまちづくりのための新たな施策を提案します。

関心・発見





(仮称)ふくやま未来づくり100人委員会

幅広い世代の市民が、30年後の未来を想像しながら、夢やアイデアを共有し、福山の未来図を描きます。また、その実現に向けて「何ができるか」を自由に話し合います。

対話

30年後の未来図



車座トーク

市長が地域へ出向き、市民と直接対話することで、市民サービスの向上など、今後の市政運営に生かしていきます。

夢・未来プロジェクト

次代を担う子どもたちが夢を発表する機会を創出するとともに、専門家による指導など子どもたちの夢の実現に向けた支援を行います。

チャレンジ




まちづくり人財バンク

個人のスキルを社会貢献に生かす登録制度を設け、市民の活躍の場を創設します。

活躍の場づくり

あなたのチカラを社会のチカラに



【挑戦5】文化・スポーツの振興

歴史・文化の継承(予算額:242,347千円)

担当課：経済環境局文化観光振興部文化振興課
教育委員会管理部文化財課 ほか

福山開府400年・福山城築城400年に向けて、各年度テーマ性を持ったプレイベントなどを実施することで、市民の機運を醸成し、本市の魅力を全国に向けて発信します。あわせて、本市の豊かな歴史・文化資源の発信も強化します。

福山開府400年・福山城築城400年に向けた取組



機運醸成と市民全員参加への取組

- 記念事業推進委員会の設置
- 基本方針等の策定
- 幟旗設置等啓発事業の実施

福山城及び周辺整備事業の実施

- 福山城等の耐震診断
- 福山城全体ライトアップの基本設計

史跡福山城跡文化財保存整備事業の実施

- 史跡福山城跡保存活用計画の策定
- 二之丸南側石垣カルテの作成



戦略的な情報発信の実施

- 専用ホームページの作成等
- 大政奉還150周年記念プロジェクトを通じた情報発信

歴史・文化資源の全国への発信

日本遺産認定に向けた取組

- ・ 歴史文化基本構想の策定

地域の歴史・文化資源の発信

- ・ 廉塾・菅茶山旧宅等の整備
- ・ 古墳群, 砂留, 祭りなど, 地域で受け継がれてきた歴史・文化資源の発信

鞆地区町並み保存推進

- ・ 伝統的建造物群保存地区内の建物の修景事業の実施

ばらのまち福山ミステリー文学新人賞

- ・ 第9回受賞作出版, 表彰式
- ・ 第10回作品募集, 選考, 決定
- ・ 第11回作品募集

本市の豊かな歴史・文化資源を全国に向けて発信

【挑戦5】文化・スポーツの振興

鞆のまちづくり(予算額:217,174千円) (うち,再掲分 214,674千円)

担当課：建設局都市部都市計画課 土木部港湾河川課
経済環境局文化観光振興部観光課
教育委員会管理部文化財課

地域との協働により、鞆地区の総合的なまちづくりを推進するため、まちづくりワークショップなどを通じて、地域社会と歴史や文化が調和する、新たなまちづくりの将来像を描きます。そして、地域と行政が協力しあって鞆地区の再生・活性化に取り組むことにより、安全で快適な生活環境と魅力ある鞆地区の実現をめざします。

にぎわい

安心・安全

歴史・文化
の継承

■(仮称)鞆まちづくりビジョン策定

・鞆の再生・活性化に向け、ワークショップを通じて住民と行政が鞆のめざすべき将来像を共有し、協働して取り組むべきことなどの具体的な方向性を示す「(仮称)鞆まちづくりビジョン」を住民と一緒に策定します。



■ 鞆地区町並み保存の推進【再掲】

・歴史的町並みを保存するため、伝統的建造物群保存地区内の修理・修景に対する補助を行います。



■ 観光資源の磨き上げ【再掲】

・いろは丸事件から150年の節目の年であることをテーマにプロモーションを行い、観光客の誘致に取り組みます。
・鞆の魅力を発信し、観光客によるにぎわいを創出するため、老朽化した観光案内看板の更新など受入環境整備を行います。



■ 災害に強いまちづくり【再掲】

・高潮時の豪雨による道路冠水や浸水被害に対する安心安全なまちづくりの一環として、石井浜地区に排水施設を整備します。



【排水機整備イメージ】

「スポーツで活気あふれるまち 福山」をめざして、生涯にわたってスポーツができ、スポーツの活用により地域が活性化するまちを実現していく環境を整え、関係団体等と連携しながら、スポーツの活性化を図ります。

総合体育館等の整備

＜2019年度(平成31年度)供用開始予定＞

・安心安全なまちづくりに資する体育館、「福山らしさ」を発信する体育館、「すべてのひとにひらかれたスポーツによる交流とにぎわいの創造拠点」として市営競馬場跡地に、総合体育館や公園を整備します。

・多くの市民が利用できるとともに、全国規模の大会が開催できるようメインアリーナ、サブアリーナ、武道館からなる総合体育館とします。



・スポーツを観て楽しむ環境をつくりだすため、Bリーグ(バスケットボール)やVリーグ(バレーボール)などの公式戦の開催が可能な施設を整備します。
・にぎわいを創出するため、各種コンベンション等を開催するとともに、公園と芦田川の河川空間との一体的な利活用を図ります。

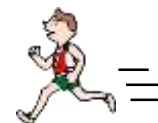


東京オリンピック・パラリンピックに向けた取組



＜2016年(平成28年)7月パートナー都市協定締結＞

- ・オリンピック・ムーブメントを活用して、スポーツ振興と地域活性化に取り組みます。
- ・JOCと共催して、オリンピック教室を開催します。
- ・パラリンピックを契機とし、障がい者スポーツへの理解を深め、スポーツ活動の機会を充実します。
- ・聖火リレーや事前合宿を誘致して、関心や機運を高めます。
- ・オリンピックや国体、インターハイなど全国レベルの大会に多くの選手が出場できるよう競技力を強化します。



「スポーツで活気あふれるまち 福山」
～生涯スポーツ社会の実現とスポーツを通じたまちづくり～

